

問題2 I

球全体の電荷は $\frac{4\pi R^3 \rho}{3}$ なので

$$1) E = \frac{4\pi R^3 \rho}{3} \frac{1}{4\pi \epsilon_0 r^2} = \frac{R^3 \rho}{3\epsilon_0 r^2}$$

$$2) V = -\int_{\infty}^r \frac{R^3 \rho}{3\epsilon_0 r^2} dr = \frac{R^3 \rho}{3\epsilon_0 r}$$

半径 $r < R$ 内の電荷は $\frac{4\pi r^3 \rho}{3}$ なので

$$3) E = \frac{4\pi r^3 \rho}{3} \frac{1}{4\pi \epsilon_0 r^2} = \frac{r\rho}{3\epsilon_0}$$

$$4) R \text{ から } r \text{ までの電位差は } V_{R-r} = -\int_R^r \frac{r\rho}{3\epsilon_0} dr = \frac{\rho}{6\epsilon_0} (R^2 - r^2)$$

$$2) \text{ より, } r=R \text{ での電位は } V_R = \frac{R^2 \rho}{3\epsilon_0}$$

$$\text{両者を加え, } V_r = \frac{\rho}{6\epsilon_0} (3R^2 - r^2)$$

5) 空洞は, その部分に電荷密度 $-\rho$ の球を置いたと考え, 二つの球が作る電場を重ね合わせれば

よい。空洞の中心においては $+$ の球の電場 $\frac{\rho R}{6\epsilon_0}$, $-$ の球はゼロ, よって $\frac{\rho R}{6\epsilon_0}$

$$\text{一般に } r \text{ では, } \frac{\rho r}{3\epsilon_0} - \frac{\rho(r-R/2)}{3\epsilon_0} = \frac{\rho R}{6\epsilon_0}$$

さらに空洞内の一般の点 (x, y) では

$$+ \text{ の球の電場 } \frac{\rho}{3\epsilon_0} (x, y), - \text{ の球は } \frac{-\rho}{3\epsilon_0} (x - \frac{R}{2}, y) \text{ よって } \frac{\rho}{3\epsilon_0} (\frac{R}{2}, 0) \text{ で一定}$$

II 解答

- (1) 内部円柱内で、半径 r の円に沿って Ampere の周回積分の法則を適用すると、対称性により磁界 H はその円の接線方向で、大きさが等しい。また、電流が一様な密度で流れているから、

$$H \cdot 2\pi r = \frac{\pi r^2}{\pi c^2} I$$

が得られ、それ故に

$$H = \frac{r}{2\pi c^2} I$$

- (2) 同様に、外部円筒内で、半径 r の円に沿って Ampere の周回積分の法則を適用する。このとき、

円内の電流は $I - \frac{\pi(r^2 - b^2)}{\pi(a^2 - b^2)} I$ であるから、

$$H \cdot 2\pi r = I - \frac{\pi(r^2 - b^2)}{\pi(a^2 - b^2)} I$$

が得られ、それ故に

$$H = \frac{I}{2\pi(a^2 - b^2)} \left(\frac{a^2}{r} - r \right)$$

- (3) 両導体の間の空間に生ずる磁界は内導体に流れる電流 I によるもののみである。よって、半径 r のところの磁界は

$$H = \frac{I}{2\pi r}$$

- (4) 右図に示すように、半径 r のところの磁束密度は

$$B = \mu_0 H = \frac{\mu_0 I}{2\pi r}$$

である。半径 r のところの幅 dr の帯状部分を考え、長さが 1 m 幅 dr の矩形をつらぬく磁束を $d\Phi$ とすれば、

$$d\Phi = \frac{\mu_0 I}{2\pi r} dr$$

となるから、長さ 1 m 当りの全鎖交磁束 Φ は

$$\Phi = \int_c^b d\Phi = \int_c^b \frac{\mu_0 I}{2\pi r} dr = \frac{\mu_0 I}{2\pi} \int_c^b \frac{dr}{r} = \frac{\mu_0 I}{2\pi} \log \frac{b}{c}$$

となる。従って、1 m 当りの自己インダクタンス L は

$$L = \frac{\Phi}{I} = \frac{\mu_0}{2\pi} \log \frac{b}{c}$$

